

学生企画活動 支援事業報告

今年度は、5件のプログラムが採択され、それぞれ順次進められています。今回はその中で、既にイベントが終了した「Let's リサイクル」と「作ってハッピー☆造形ひろば」に活動報告をしてもらいました。



Let's リサイクル

第62回輝燦祭では、ゴミの量を減らすこと、また大学祭に参加して下さる全ての方にリサイクル運動に参加してもらうことにより環境保全運動の意識を高めること、この2点を目的として「Let's リサイクル」の企画を実施しました。この企画では大学祭の模擬店で「P&P リ・リバック」というリサイクルトレーを使用し、駐輪場、講義棟の2カ所に設営したリサイクルセンターで回収しました。リサイクルセンターでは、単にリサイクルトレーを持ってきてもらうというわけではなく、リサイクルトレー3枚で1回抽選ができ、はずれた場合も参加賞を用意しました。今年度は、少しでも多くのリサイクルトレーを回収するために、リサイクルトレー専用のゴミ箱を各所に設置しました。また、昨年に引き続き、リサイクルセンターの存在を知ってもらうための看板をゴミ箱の近くに設置しました。みなさんのおかげで3日目にはリサイクルセンターの賞品が無くなるほどのトレーを回収することができました。リサイクルにご協力頂きありがとうございました。

脇川 彩香 教育・発達基礎コース2回生

作ってハッピー☆造形ひろば ～第11回造形ひろば～

地域の方に親子で造形活動の楽しさを味わってもらおうという考えのもと実施してきたこの造形ひろばは、今年で11年目を迎えました。美術科専修の学生を中心とした学生企画として行われました。今回、やりたいこと、好きなことを造形活動を通して表現することで、作ることの楽しさを味わい、友達や親子の絆がより深まり、作った人、関わった人がより幸せになれたら…という思いを込め、「作ってハッピー☆造形ひろば」というテーマで活動しました。

長年、好評の中続けられてきた企画ゆえ今回もリピーターの数は多く、そういった方にも満足して帰っていただけるように頑張りました。今回は例年の粘土を使ったお菓子作りに加え、スチレンボードを用いた版画ができるコーナーや、木の枝などの自然物を使って工作ができるコーナーなどを行いました。子どもたちは集中して作品を作り、満足した顔で自分の作品を持ち帰ってくれるので、とてもやりがいがあります。また、この造形教室は学生が考えた教材を実践することができるので、貴重な経験の場と



なっています。

そして、造形ひろばは学生企画活動支援事業に採択されて8年目を迎えました。支援事業として活動させていただくことで、毎年十分な材料や道具を準備することができています。

来年は、関わった人がより幸せになれるよう、今年の改善点を生かし、来年もさらに良い活動となるように頑張っていきます。

真井 春花 身体・表現コース4回生

学生企画活動支援事業とは

学生自らが企画する事業の内、優れたものに対して、大学が経済的支援等を行い、学生自身に実体験をさせることで、学生の企画力・実践力・社会性を高め、優れた教員等の養成に資することを目的としたものです。詳しくは、HP等を参考にしてください。

次年度については、4月から5月上旬にかけて募集する予定です。

多くの団体の応募をお待ちしています。

お問い合わせ先：service@nara-edu.ac.jp（学生支援課学生担当）

